



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	12,888	11.0	465		1,010		692	
29年6月期第3四半期	14,475	22.5	362	74.2	114	90.1	79	89.1

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 679百万円 (%) 29年6月期第3四半期 128百万円 (82.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	51.40	
29年6月期第3四半期	5.93	5.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第3四半期	48,051	6,612	13.6	484.86
29年6月期	32,633	7,511	22.8	552.34

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 6,544百万円 29年6月期 7,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		17.00	17.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,222	28.1	3,114	69.5	2,665	82.2	1,787	88.2	132.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	13,497,400 株	29年6月期	13,468,600 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	76 株	29年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	13,475,849 株	29年6月期3Q	13,457,649 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページの[1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。なお、当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ間での内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の拡大、雇用・所得環境の改善が好調に推移する中、一部個人消費の上向きも見られる等、緩やかな回復基調が継続しております。一方で、不安定な国際情勢の要因もあり先行きは不透明な経済環境にあります。

当社グループが手がけるホテル事業におきましては、増加が続く訪日外国人客により、ホテル需要は引続き好調に推移しており、2020年に向けて更なる需要拡大が見込まれております。しかし新規ホテル開業による用地仕入環境の競争は増しております。当社グループにおきましては、京都市内、都心、地方主要都市を含めたホテル用地の仕入、開発に取組み、順調に進捗しております。また、ホテルの運営受託は開発実績に合わせて増加を予定しております。

新築マンション事業は、平成30年に入り、発売戸数は増加傾向にあり、平成30年1～2月の初月契約率は好不調の目安となる70%を下回りましたが、3月の契約率は74.7%となりました。(出所：株式会社不動産経済研究所の「首都圏のマンション市場動向」)。当社グループにおきましては、消費増税前の駆け込み需要、用地価格の上昇、継続する建築費の高騰のため、郊外型マンションの仕入を控え、都心型の利便性の高い実需用コンパクトマンション及び投資用ワンルームマンションの仕入開発、販売を積極的に行いました。

戸建事業におきましては、新築建売事業の販売が長期化傾向にあるため、仕入用地を厳選し、商品企画をより充実させてまいります。

また、投資用不動産事業におきましては、アパート・賃貸マンション等、個人、法人ともに収益不動産への投資需要は旺盛な状況が継続しております。当社グループにおきましては、利便性の高い都区部や駅近物件を厳選し、積極的に開発してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高12,888百万円(前年同期比11.0%減)、営業損失465百万円(前年同期は営業利益362百万円)、経常損失1,010百万円(前年同期は経常利益114百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失692百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は変動後のセグメント区分に基づいております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表注記事項(セグメント情報等)」の「2. 報告セグメント変更等に関する事項」を参照ください。また、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ市川一丁目」「ウィルローズ田端」等、合計86戸の引渡を行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高4,569百万円(前年同期比46.3%減)、営業利益309百万円(前年同期比57.1%減)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第3四半期連結会計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高509百万円(前年同期比60.2%増)、営業損失261百万円(前年同期は営業損失112百万円)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「渋谷区代々木プロジェクト」、「和光市新倉6期プロジェクト」、「杉並区久我山アパートプロジェクト」等、分譲146戸、請負工事27戸、計173戸の引渡を行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7,192百万円(前年同期比46.3%増)、営業利益は244百万円(前年同期は営業利益2百万円)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理、仲介を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部35物件117戸、東京都下21物件43戸、神奈川県11物件45戸、埼玉県7物件8戸、千葉県6物件27戸、その他2物件3戸、合計82物件243戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高348百万円(前年同期比51.2%減)、営業損失87百万円(前年同期は営業利益148百万円)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成30年3月31日現在のマンション管理戸数が前期末に比べ51戸増加し、3,364戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高318百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益47百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高88百万円（前年同期比130.2%増）、営業利益35百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ15,418百万円増加し、48,051百万円となりました。負債については前連結会計年度末から16,318百万円増加し、41,439百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から899百万円減少し、6,612百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,832百万円増加、仕掛販売用不動産が10,297百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が15,582百万円増加、また買掛金が280百万円減少、未払法人税等が400百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が921百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の連結業績予想につきましては、順調に推移しており、平成29年8月4日に公表いたしました業績予想に変更はございません。当連結会計年度におきましては、第4四半期に全体の約6割の引渡が集中するため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第3四半期連結累計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

物件販売に係る売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
39,726百万円	34,554百万円	86.98%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,585,886	8,418,231
売掛金	17,382	41,928
完成工事未収入金	165,214	—
販売用不動産	3,615,645	4,225,281
仕掛販売用不動産	19,838,410	30,135,942
前払費用	372,537	414,622
繰延税金資産	64,355	424,681
その他	514,063	949,131
流動資産合計	31,173,497	44,609,819
固定資産		
有形固定資産	241,926	1,680,652
無形固定資産	14,093	8,904
投資その他の資産		
投資有価証券	409,507	563,085
破産更生債権等	132,319	132,139
長期貸付金	146,700	297,600
関係会社長期貸付金	298,651	296,041
その他	348,790	595,501
貸倒引当金	△132,319	△132,139
投資その他の資産合計	1,203,648	1,752,227
固定資産合計	1,459,668	3,441,784
資産合計	32,633,166	48,051,604
負債の部		
流動負債		
買掛金	522,606	242,539
短期借入金	5,339,439	9,540,275
1年内返済予定の長期借入金	6,324,493	9,036,082
1年内償還予定の社債	200,600	1,287,600
未払金	175,398	112,569
未払法人税等	422,234	21,461
未払消費税等	143,622	29,488
前受金	759,039	2,246,663
賞与引当金	12,595	50,113
その他	187,556	146,568
流動負債合計	14,087,586	22,713,360
固定負債		
社債	308,800	347,000
長期借入金	10,645,136	18,196,863
繰延税金負債	23,859	35,727
その他	56,033	146,549
固定負債合計	11,033,829	18,726,141
負債合計	25,121,416	41,439,501

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,379	401,276
資本剰余金	1,340,608	1,347,505
利益剰余金	5,637,186	4,715,603
自己株式	△33	△33
株主資本合計	7,372,140	6,464,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,642	81,072
為替換算調整勘定	11,449	△1,059
その他の包括利益累計額合計	67,092	80,013
新株予約権	72,517	67,736
純資産合計	7,511,749	6,612,102
負債純資産合計	32,633,166	48,051,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	14,475,392	12,888,788
売上原価	11,721,734	10,756,937
売上総利益	2,753,658	2,131,850
販売費及び一般管理費	2,390,983	2,596,909
営業利益又は営業損失(△)	362,674	△465,059
営業外収益		
受取利息	4,735	7,795
受取手数料	14,392	6,767
解約精算金	3,707	2,950
為替差益	34,850	—
その他	22,220	21,850
営業外収益合計	79,907	39,363
営業外費用		
支払利息	237,025	300,554
支払手数料	84,263	201,025
為替差損	—	10,892
持分法による投資損失	726	23,939
その他	6,220	48,462
営業外費用合計	328,235	584,874
経常利益又は経常損失(△)	114,346	△1,010,570
特別利益		
関係会社清算益	—	16,845
特別利益合計	—	16,845
特別損失		
固定資産除売却損	3,607	—
ゴルフ会員権評価損	300	—
特別損失合計	3,908	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110,438	△993,725
法人税、住民税及び事業税	132,617	59,659
法人税等調整額	△102,041	△360,766
法人税等合計	30,575	△301,107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,862	△692,618
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,862	△692,618

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,862	△692,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,952	25,429
為替換算調整勘定	13,663	△12,508
その他の包括利益合計	48,615	12,920
四半期包括利益	128,478	△679,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,478	△679,697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	8,508,766	318,169	4,917,867	391,189	300,880	14,436,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	322,282	5,592	327,874
計	8,508,766	318,169	4,917,867	713,471	306,473	14,764,748
セグメント利益又は損失 (△)	722,758	△112,115	2,073	148,145	41,905	802,766

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	38,518	14,475,392	—	14,475,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	327,874	△327,874	—
計	38,518	14,803,267	△327,874	14,475,392
セグメント利益又は損失 (△)	2,798	805,565	△442,890	362,674

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△442,890千円は、未実現利益の調整額等△9,738千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△433,152千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	
売上高						
外部顧客への売上高	4,569,775	509,571	7,192,904	208,951	318,893	12,800,098
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	139,522	—	139,522
計	4,569,775	509,571	7,192,904	348,474	318,893	12,939,620
セグメント利益又は損失(△)	309,932	△261,946	244,427	△87,022	47,789	253,180

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	88,689	12,888,788	—	12,888,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	139,522	△139,522	—
計	88,689	13,028,310	△139,522	12,888,788
セグメント利益又は損失(△)	35,495	288,675	△753,735	△465,059

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△753,735千円は、未実現利益の調整額等△812千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△752,922千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分を見直した結果、従来の「マンション事業」に含めていた「ホテル事業」を報告セグメントとして記載する方法への変更等をしております。

これにより、報告セグメントを、従来の「マンション事業」、「戸建事業」、「販売代理事業」、「建物管理事業」の4事業区分から、「マンション事業」、「ホテル事業」、「戸建事業」、「販売代理事業」、「建物管理事業」の5事業区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。